

OIL FILTER 症状チェック③

シールガスケットが切れた

ガスケットを正確にいうとシールガスケット、リング状のものをOリングと言います。シールというぐらいですから、圧着する役目があり、存在は小さいながらもその責任は重大です。なんといっても大きな圧力に耐えなければならないのですから。そんなガスケットをフィルターにしっかりとセットしなかったらどうなるでしょう。オイル漏れを起こし、最悪の場合はエンジンが焼き付きます。

1. たかがガスケット、されどガスケット。似ていてもやっぱり違うから同梱付属品を使って。

- ガスケットにはさまざまな種類があり、太さや材質、弾力が異なります。
- 締め付けが強すぎても弱すぎてもトラブルの原因になります。
フィルターの締め付けは規定トルク値または指定回転数で正確に行ってください。
- フィルター交換時には、必ずフィルターとセットになっている同梱付属品を使用しましょう。



2. ガスケットはしっかりと溝におさめて、正しくセット。

■異物かみ

ブラケット面をキレイに拭かずにゴミなどが付着したまま締め付けると、ガスケットにへこみが生じ、シール不良を招きます。この状態で走行し続けると、ガスケットが鋭利に直線的に切れることがあります。これはガスケットの物性低下によるものではなく異物によるものです。



■乗り上げ・片寄り

ガスケットを溝に正常にセットせず、外れたまま締め付けると(乗り上げ)、ガスケットに2カ所以上のキズやへこみが生じます。また、オイルを塗らずに締め付けるとガスケットが偏ることもあり、変形・シワが発生します。これによりシール性が大幅に損なわれるのはもちろん、そこからオイル漏れが生じることもあります。



■二重ガスケット

古いガスケットが残っているその上から、新しいガスケットをセットしたフィルターを取り付けると、十分に締め付けたつもりでもエンジンの振動やオイルの圧力によりシール性が損なわれ、ガスケットが外れるなどしてオイル漏れが発生します。



3. 交換時にはガスケットに必ず新しいオイルを塗布してください。

- オイルフィルターを交換するときは、必ず新しいオイルを塗布してください。
- ガスケットが正しくセットされていることを確認してください。
- オイルを塗らずにセットすると、始めは溝に収まっていたものが無理に引っ張られ捻れたり片寄ったりして、ガスケットが切れる原因となります。

